

(案)

調布駅前広場整備計画図案

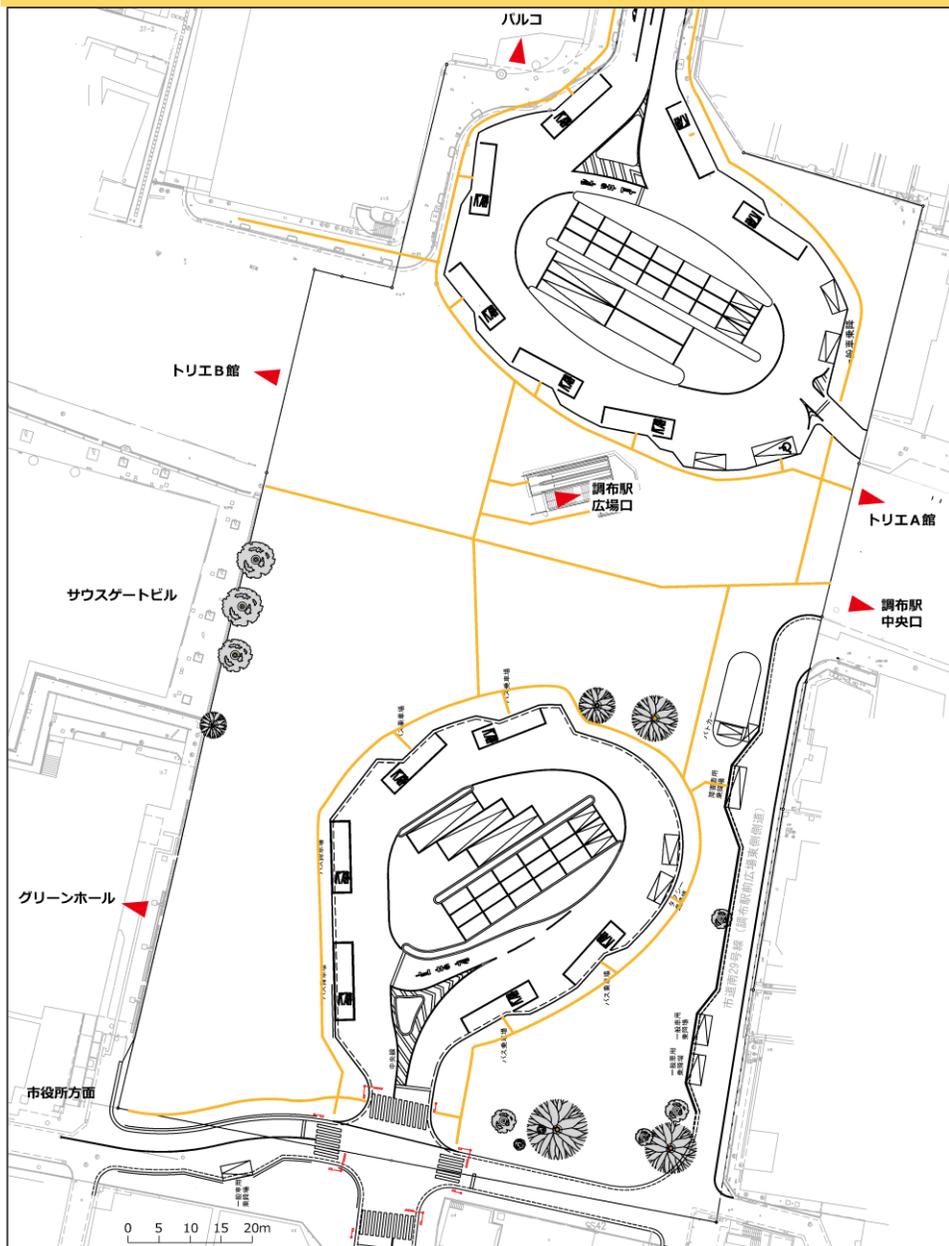
令和3年2月

検討項目と検討の方向性

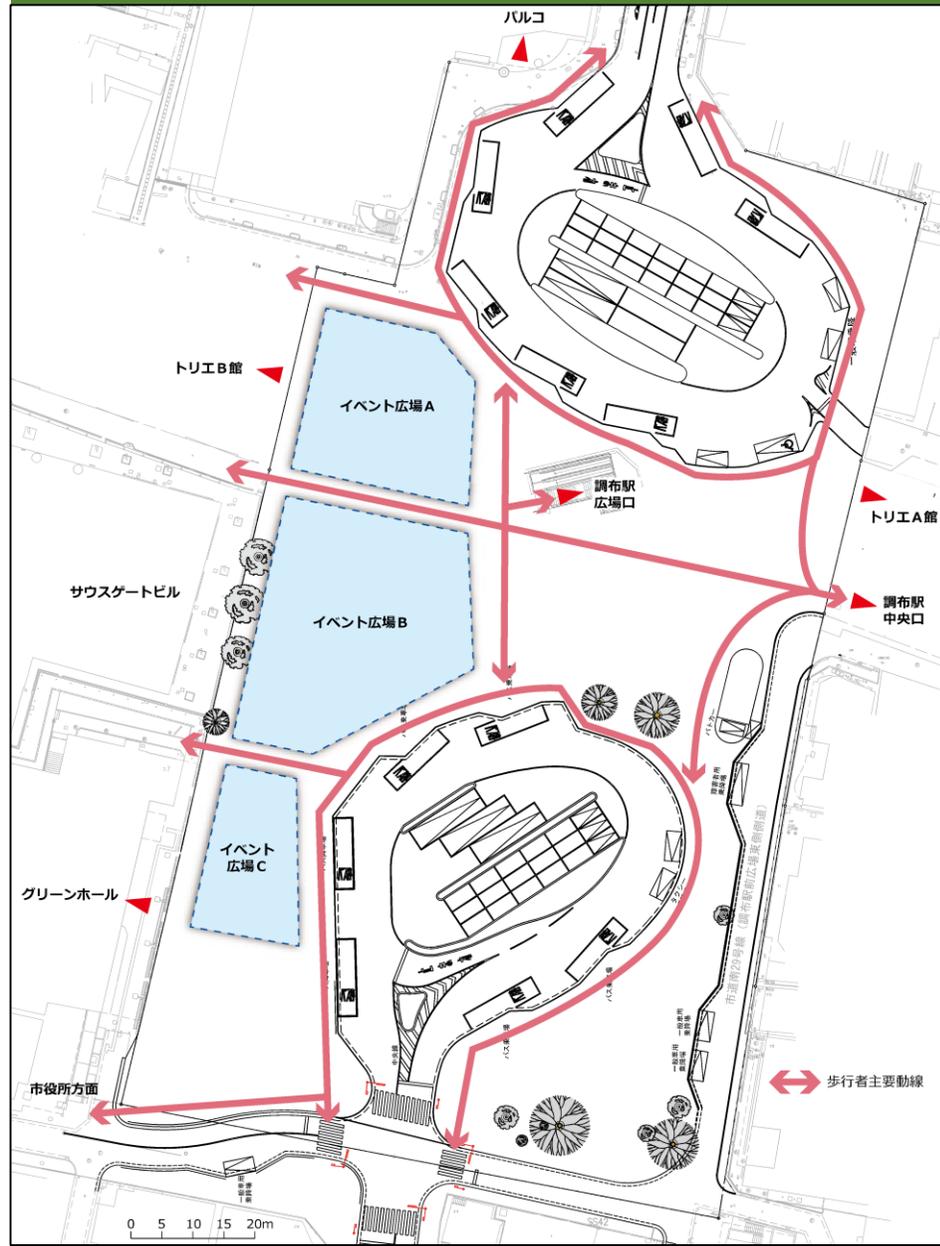
検討項目		◎…案として決定, ○…方向性を決定し今後詳細を検討, ★…要検討	
①	ゾーニング	◎	「調布駅前広場整備計画図素案」の内容で案として決定する。
②	歩行者動線案	◎	「調布駅前広場整備計画図素案」の内容で案として決定する。
③	誘導ブロックの配置	○	概略の配置については「調布駅前広場整備計画図素案」の内容で決定する。敷設するブロックの具体的な枚数などの詳細については、今後も継続的に関係団体と協議のうえ決定していく。
④	イベント空間	○	概略の配置については「調布駅前広場整備計画図素案」の内容で決定する。水道や電気の設置、利用のルールなどの詳細については市民意見等を踏まえ、決定していく。
⑤	自転車の通行	★	関係機関等と協議を進める。また、ルール作りに向けて社会実験を実施し、効果を確認していく。
⑥	上屋の設置	◎	駅出入口と南北ロータリーをつなぐ上屋については、令和7年度の駅前広場完成時点での設置は行わず、現在の空間を維持していく。南側の障害者用乗降場に上屋を設置し、雨天でも安全に乗り降りできる環境を整備していく。
⑦	コミュニティゾーンの整備 (グリーンホール前)	○	どの世代もうるおいを感じ、暑さ対策にもつながる空間づくりに向けて、社会実験等を実施し決定していく。
	憩い空間	○	どの世代も憩いやすらげる空間の創出に向けて、子ども向けベンチを設置する。
⑧	情報発信機能の確保	○	社会実験を実施して、設えや内容を決定していく。
⑨	トイレの設置	○	概略の配置については「調布駅前広場整備計画図素案」の内容で決定する。配置や仕様等の詳細については関係部署等と協議のうえ決定していく。
⑨	マンホールトイレの設置	○	調布駅前広場付近の設置を前提に、管理者等と協議し設置基数等を決定していく。
⑩	樹木配置	○	概略の配置、樹種は案として決定する。アオギリやグリーンホール前の配置については関係部署等と協議のうえ決定していく。

③④ 誘導ブロックの配置, イベント空間 (方向性を決定し, 今後詳細を検討する内容)

③ 誘導ブロックの配置



④ イベント空間



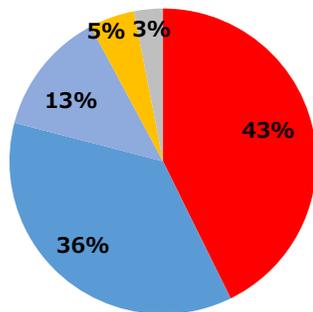
⑤ 自転車の通行について（1）

- 調布駅前広場内の自転車通行については、今後も関係機関等と協議を行い、検討していく
- 現在の課題を明らかにし、ルールづくりの参考にするため、今後**社会実験**を実施し効果を確認していく

市民参加の結果

調布駅前広場の自転車の通行について（全体集計）

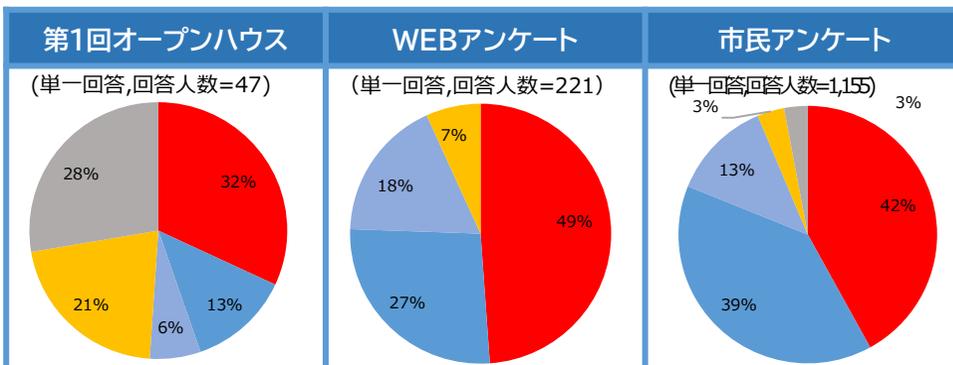
- 自転車の通行を禁止
- 自転車通行空間（24時間）の設置
- 自転車通行空間（時間帯制限）の設置
- その他
- 未回答



主な意見

- ・警備員の配置や規制をする等の対策が必要
- ・視覚障害者→歩行者→自転車の順番で動線を検討すべき
- ・広場内は自転車自身が制御するような空間であるとよい
- ・自転車と歩行者の通行帯を設置してほしい
- ・自転車を通行禁止にしても守られるかどうか疑問
- ・広場は子供も高齢者も来るので自転車走行禁止にしてほしい
- ・自転車禁止にすることで、交通事故が減少する

調布駅前広場の自転車の通行について（個別集計）



- ・周辺の商業施設を一日で何ヶ所か回ることもあるため、自転車の通行を禁止されると手間が増える
- ・自転車を使うのは急ぎたい、荷物が重いなどの理由があり、押して歩くのは自転車の人たちにはかわいそう
- ・今くらいの交通量であれば歩道を通行している自転車もあるので、それと同じ扱いで良いと思う。あの広い空間を荷物や子供を乗せて引いて歩くのはかえって危険

調布駅前広場の自転車通行の実態及び課題

実態及び課題	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の乗り入れを禁止すべきとのご意見が一定数ある ・一方、子どもを乗せての押歩きは大変なので通行を認めてほしいといったニーズも一定数ある
東西方向	<ul style="list-style-type: none"> ・京王線地下化前は東西方向の通行が可能だったため、現在も往来が多く見られる ・駅出入口から南方向に向かう歩行者との交錯が起きる
南北方向	<ul style="list-style-type: none"> ・南北の動線は、京王線地下化後に生まれた動線である ・東西方向の歩行者との交錯が起きる。また、北側の商業ビル前の空間では歩行者と自転車が錯綜する

⑤ 自転車の通行について（２）

今後の社会実験のイメージ

調布駅前広場で歩行者と自転車利用者が互いに快適に利用するにはどのようなルール作りが必要なのかを明確にし、検討する必要がある。



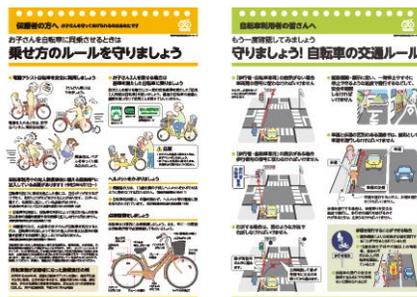
- 利用実態調査等を通じて通行している市民の目的等を調査する
- 社会実験の実施により効果を確認していく

検討例

- ・調布駅前広場の自転車利用ルールに関するリーフレット配布
- ・自転車利用ルールについてのリーフレットを調布駅周辺の施設等に配布し、啓発を行う。

《配布先イメージ》

- ① 調布駅周辺の駐輪場
- ② 近隣の保育園等
- ③ 近隣店舗

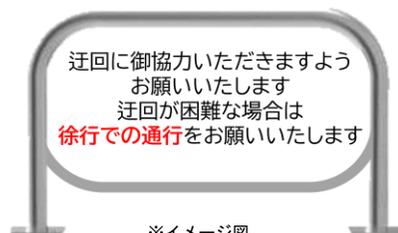


▲配布物イメージ 出典：東京都都民安全推進本部

- ・車止めや注意喚起の看板の設置
- ・自転車が通行する際に調布駅前広場へ進入する箇所（右図①～⑪）に車止めや看板を設置し、走行時の注意喚起を促す。



現在の車止めの設置場所（交番前）



※イメージ図



（車止め設置場所イメージ図）

⑥ 上屋の設置について（1）

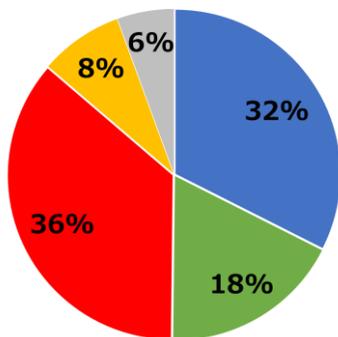
○ 駅出入口と南北ロータリーをつなぐ上屋については、一定間隔の柱が設置されることから歩行者動線等との干渉が懸念される。また、空間の広がり損ねるなどの意見が多いことを踏まえ、令和7年度の駅前広場完成時点での設置は行わず、現在の空間を維持していく

○ 南側の障害者用乗降場に雨天でも安全に乗り降りできるための上屋を設置する

市民参加の結果

上屋の配置について（全体集計）

- 広場口⇔南北ロータリー
- 中央口⇔南ロータリー
- 上屋は必要ない
- その他
- 未回答

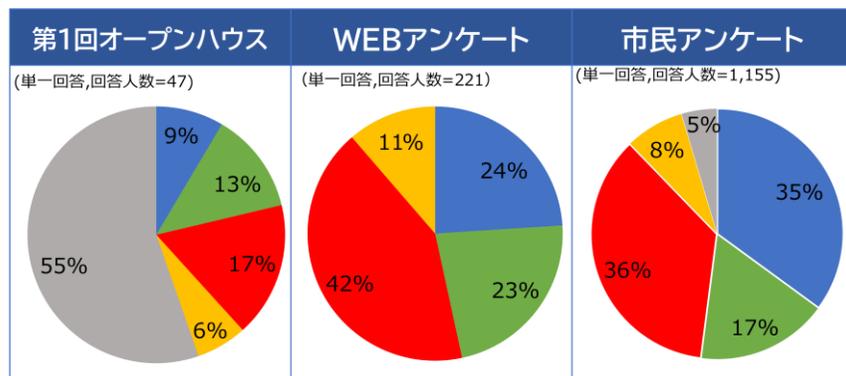


主な意見

（いらないという意見）

- 上屋はいらない。全部設置したら狭い
- 上屋は現状程度で十分、すべての動線に巡らせる必要はない
- 上屋があっても風が入り、雨に濡れるため不要
- バス・タクシー乗場だけで良い
- 各ロータリーの周囲のみ設置するのが良い
- 個人的には閉塞感があり、あまり好ましくない
- 樹木と上屋両方あると景観が損なわれると思う、ロータリーの周囲のみで良い気がする

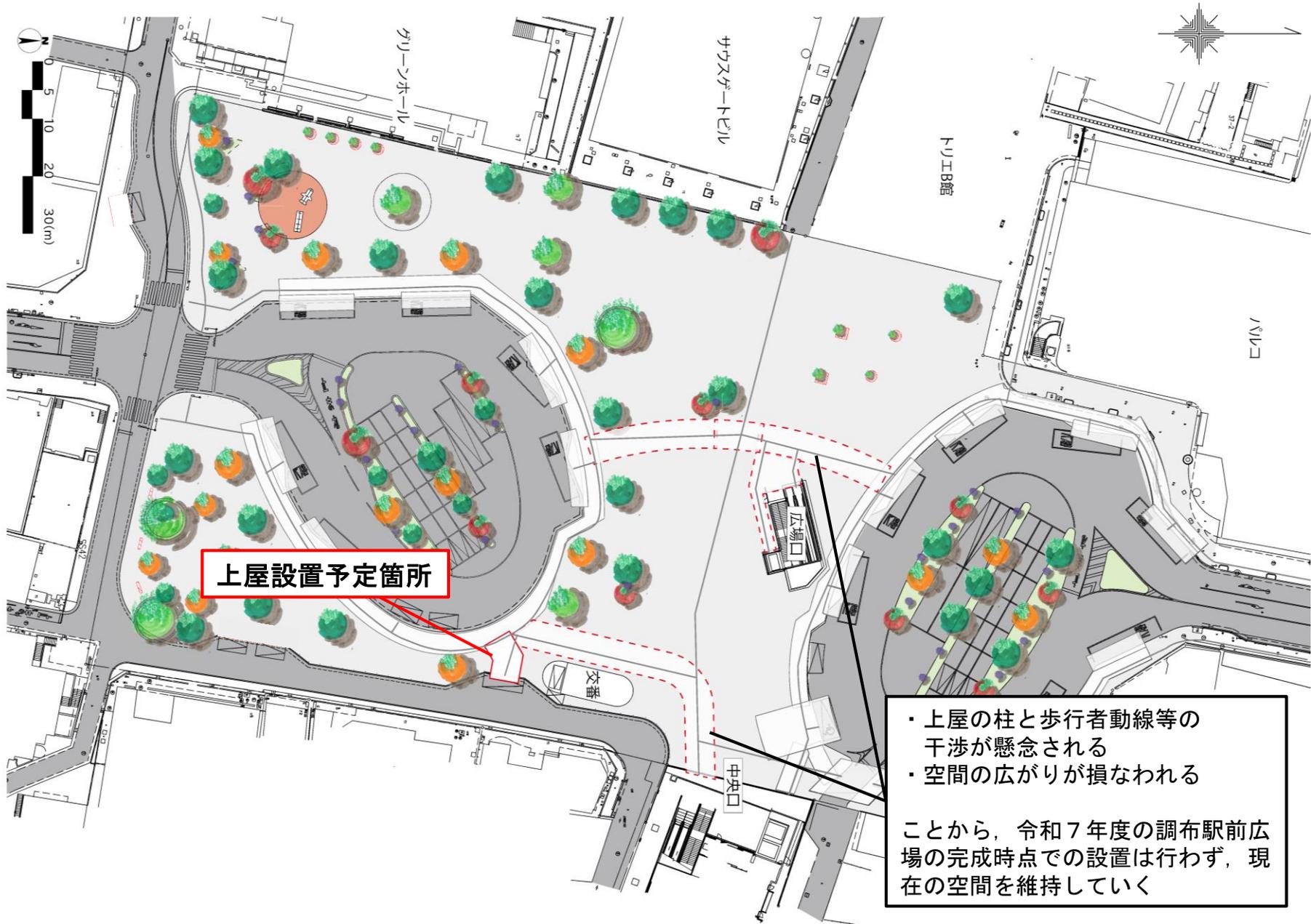
上屋の配置について（個別集計）



（ほしいという意見）

- 買い物に行く時に荷物を持って傘を差すのは大変なのでほしい
- 高齢者や身体の不自由な人や小さい子供の親御さんが傘を差さずに歩けると便利
- 両方あっても良い

⑥ 上屋の設置について (2)



上屋設置予定箇所

- ・ 上屋の柱と歩行者動線等の干渉が懸念される
 - ・ 空間の広がり損なわれる
- ことから、令和7年度の調布駅前広場の完成時点での設置は行わず、現在の空間を維持していく

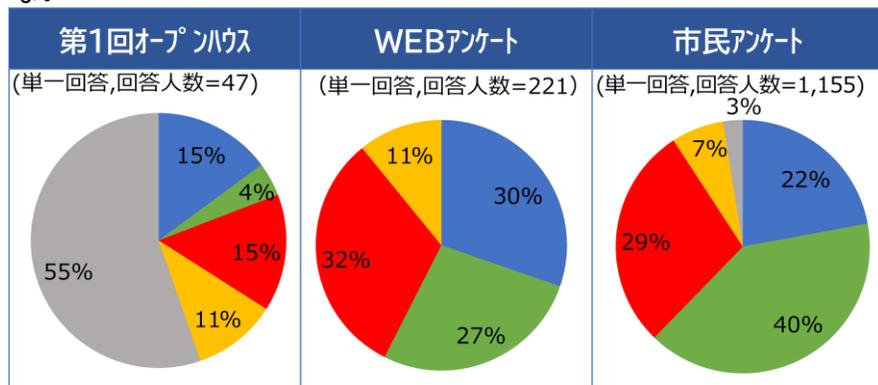
⑦ コミュニティゾーン（グリーンホール前）の整備について（1）

○「子どもから高齢者まで憩える空間」のご意見が多いことから、どの世代もうるおい・憩える空間として整備をしていく

市民参加の結果

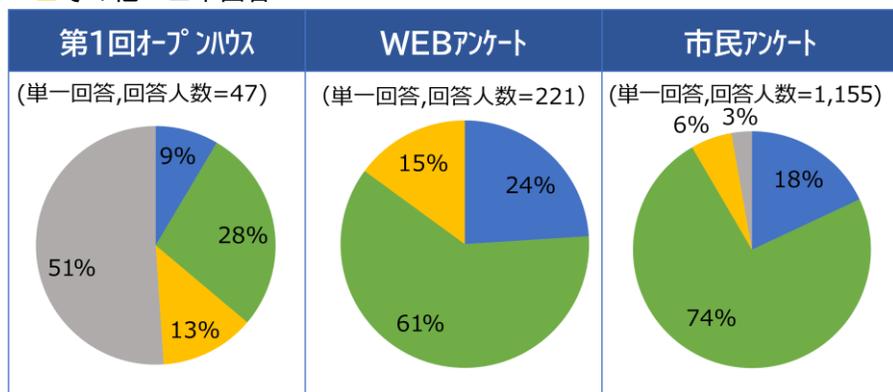
▶▶▶ うるおい空間について（単一回答）

■ ベンチの近くにミストの設置 ■ 歩行者動線上にミスト ■ ミストは必要ない

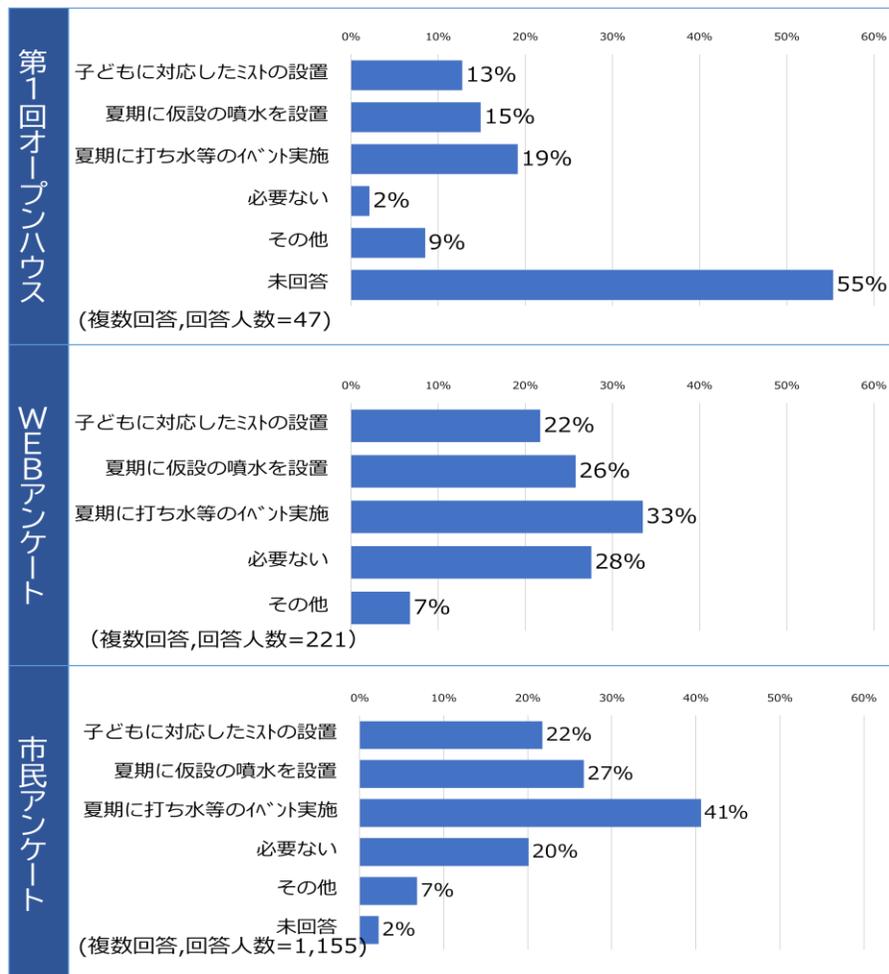


▶▶▶ 子どもの設えについて（単一回答）

■ 主に子どもが利用する憩い空間 ■ 子どもから高齢者まで憩える空間 ■ その他 ■ 未回答



▶▶▶ 子どものうるおい空間について（複数回答）

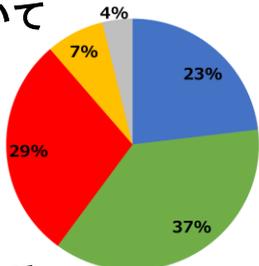


⑦ コミュニティゾーン（グリーンホール前）の整備について（2）

市民参加の結果（全体集計）

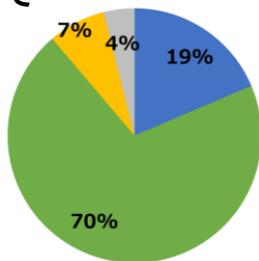
うるおい空間について

- ベンチの近くにミストの設置
- 歩行者動線上にミスト
- ミストは必要ない
- その他 ■ 未回答

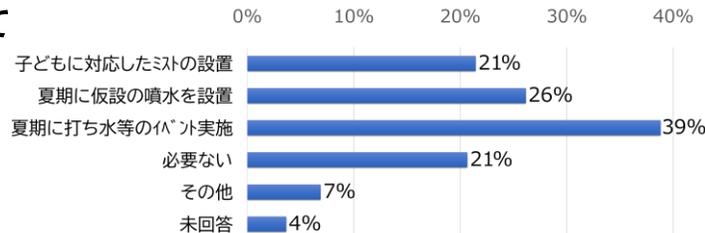


子どもの設えについて

- 主に子どもが利用する憩い空間
- 子どもから高齢者まで憩える空間
- その他 ■ 未回答



子どものうるおい空間について



主な意見

- ・ 水遊びは子供たちは大好き。なんとかさせてあげたい
- ・ 日かげがあると良い。ミストのあるベンチは良いと思う
- ・ 子どもたちが喜ぶので良いのでは。歩行者動線上には必要ない
- ・ 子どもの遊ぶ場は近くの公園で良いので子ども向けに特化する必要はない
- ・ 人通りが多く危険なため、遊び場ではなく憩える空間を創出してほしい

コミュニティゾーンの整備の方針

○うるおい空間

- 今年度社会実験として、
- ・ パーゴラとミストの設置
 - ・ 可搬式緑化ベンチにミストを設置

ミストの活用を前提に、うるおい空間の創出と効果的な暑さ対策を講じられるよう、今後も様々な形で社会実験等を実践し、決定していく



動線上に設置

出典：株式会社Do SCIENCE



足元からミストが出る事例



子どもの打ち水イベント

出典：中野区HP

○憩い空間

どの世代でも憩いやすらげる空間を創出する中で、下図のエリアに子ども向けのベンチを設置する



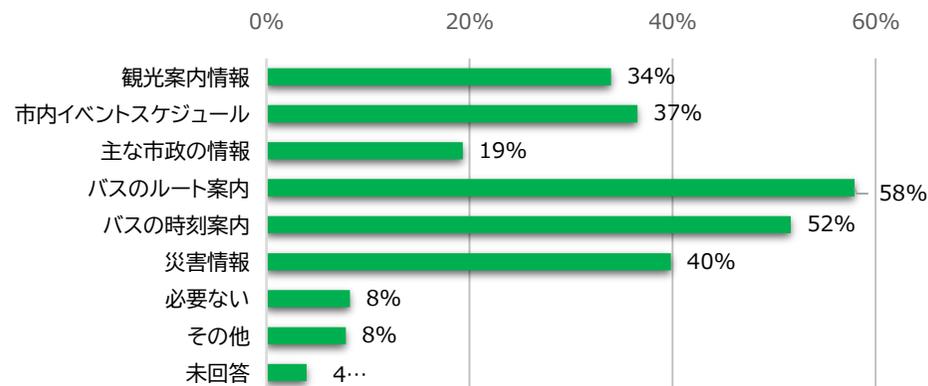
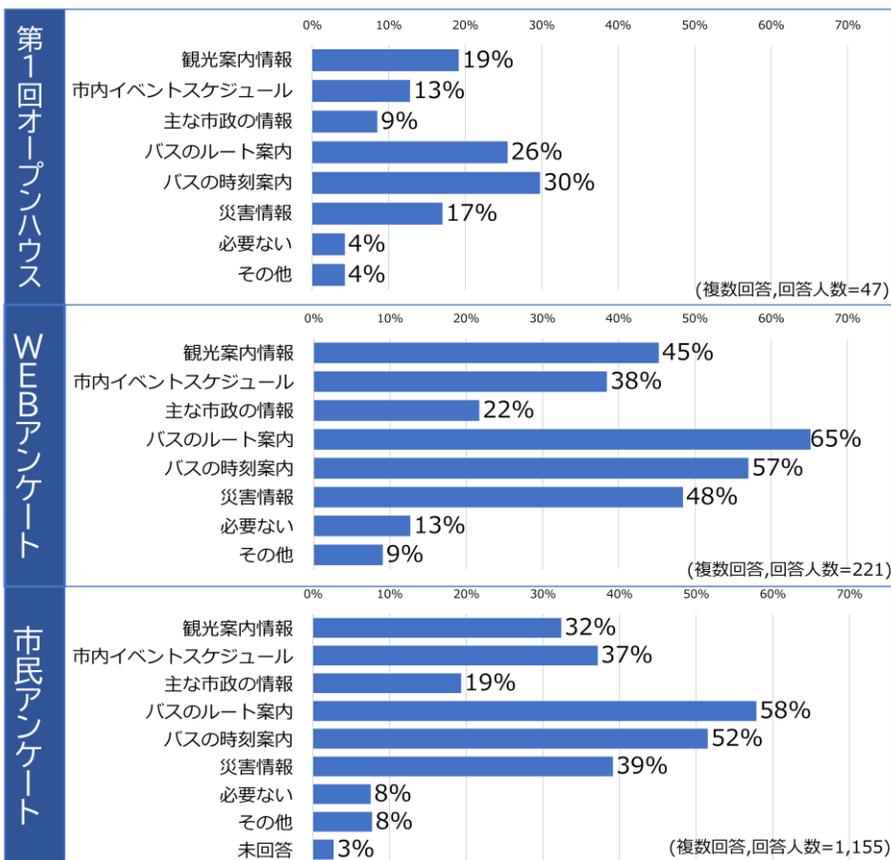
⑧ 情報発信機能の確保について

- すべての市民参加を通してバス・電車等の交通関連の情報の要望が多い
- 特に市民ニーズの高い情報の提供を目指し、公民連携も視野に入れた社会実験を実施することで、具体的な設えや内容を決定していく
- 駅前広場内（地上）に単独での建築物の設置は行わない中で、観光案内機能を確保することを検討する

市民参加の結果

提供してほしい情報… **1位 バスのルート案内** **2位 バスの時刻案内** **3位 災害情報**

集計結果（左：個別集計，右：全体集計）



主な意見

- ・ 場所は中央口と南口出てすぐ真正面の場所が良い
- ・ 専門家の研究を参考に設置場所の検討をしてほしい
- ・ 地域の商店の情報，市民の情報や市民発信の情報を掲載してほしい
- ・ バス乗り場の位置や行き先が分かりにくいので大きな表示板が欲しい
- ・ 交通案内板は早急に取り組んで頂きたい
- ・ 調布市の風景とか映画の予告などを放映する
- ・ 多言語対応できるものにしてほしい
- ・ 高額な維持費がかかるなら不要
- ・ 電車の運行情報についても。駅に入る前に分かるように、バスルート案内とかと同様に行えないか

トイレ・マンホールトイレの設置について

- トイレについて、概略の配置は「調布駅前広場整備計画図素案」の内容で決定する。仕様等の詳細については関係部署等と協議のうえ決定していく
- マンホールトイレについては、調布駅前広場付近の設置を前提に、管理者等と協議し設置基数等を決定していく



主な意見

- ・ 現在設置されているトイレは外部からの目隠しが不十分で利用する気になれない
- ・ トイレやマンホールトイレなど、だれもが必要とするものにお金を使って
- ・ 清潔にするのも忘れずにしてほしい
- ・ きちんとしたもの、外観もすてきなもの、皆が気持ち良く困った時に利用できるものにしてほしい

トイレ・マンホールトイレの設置方針

○トイレ… (設置予定箇所)

- ・ トイレは現在の仮設トイレ付近に設置する
- ・ 施設のグレードや仕様、管理方法については、今後関係部署と協議のうえ決定していく

○マンホールトイレ… (設置検討箇所)

- ・ マンホールトイレと貯水槽は、調布駅前広場付近に設置する
- ・ マンホールトイレの基数は、周辺の一時収容可能施設のトイレ不足を解消できる程度とする
- ・ 今後管理者等と協議し、設置基数等を決定していく

- 概略の配置，樹種は案として決定する。
- アオギリやグリーンホール前の配置については関係部署等と協議のうえ決定していく。

樹木配置の考え方

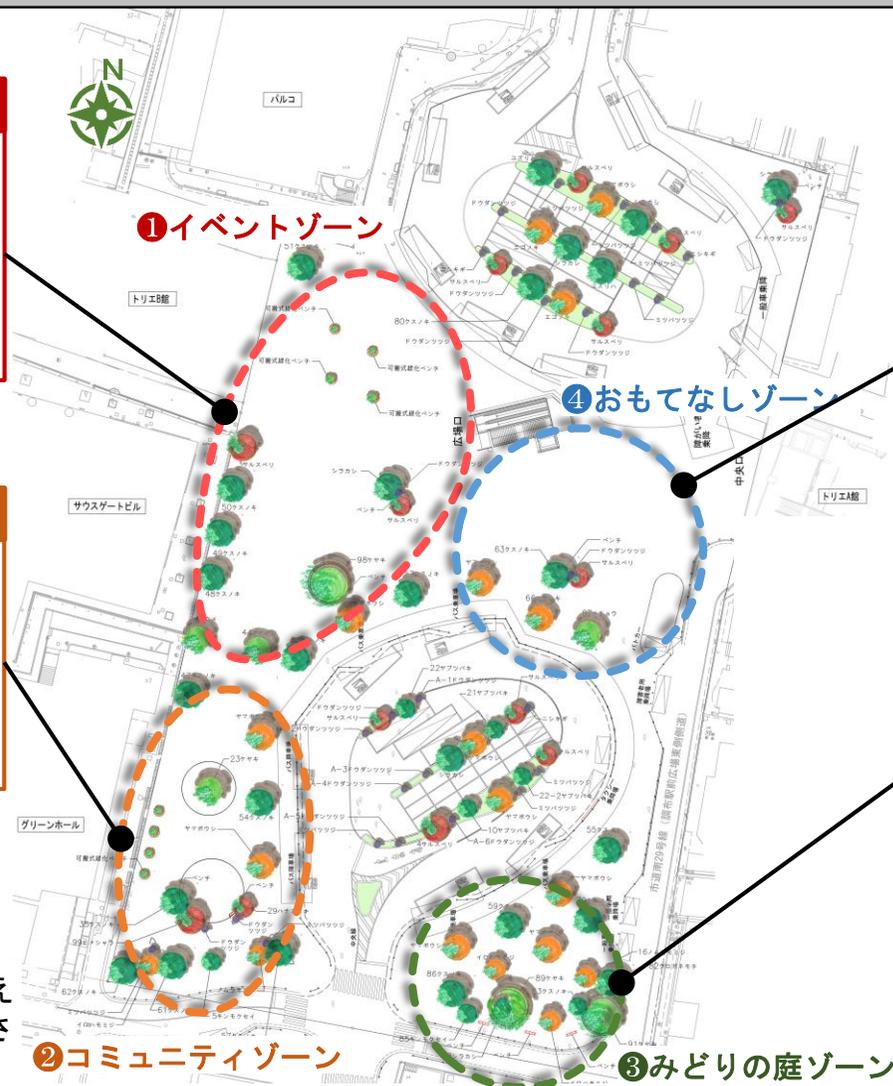
① イベントゾーン

- イベント空間として妨げにならないようにイベント空間を囲うように配置。
- サウスゲートビル前には，広場の各所から大ケヤキが望めるよう配置。

② コミュニティゾーン

- 北側は，イベント空間として使用するため，外側に多めに樹木を配置。
- 南側は，木陰で家族や友人と憩えるように樹木にベンチを合わせたものを配置。

※芝生は広場内に設置せず，植え込み地等を設けて景観を向上させる。



④ おもてなしゾーン

- 広場の大ケヤキが見えるように樹木配置をしつつ，木陰を創出するための高木を設置。その木陰にはベンチを設置。

③ みどりの庭ゾーン

- 樹木に囲まれ憩えるよう，樹木を多めに配置し，ベンチを配置。
- 周辺の建物と緩やかに分節するように植栽を配置。

交通島

- バスやタクシーなどの運転の妨げにならないよう樹種を考慮し配置。

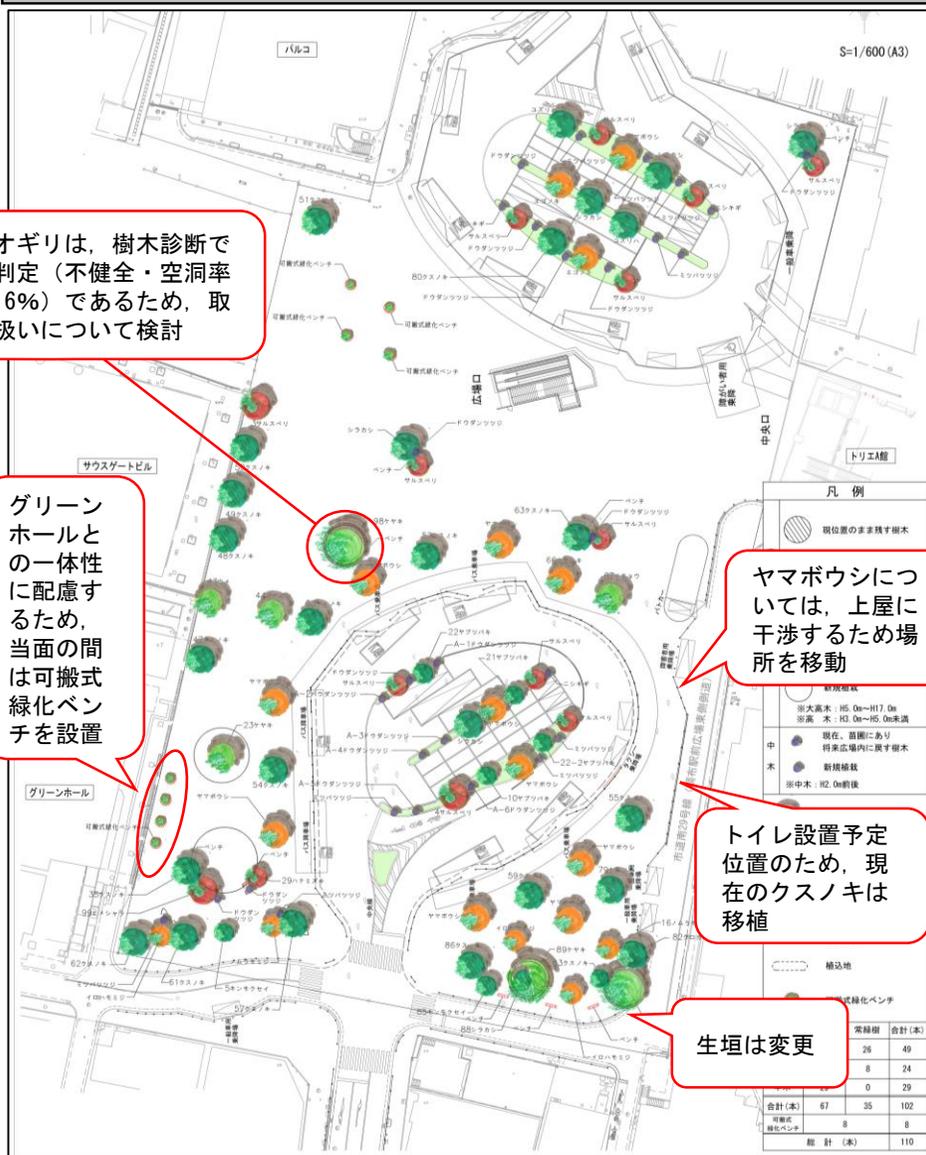
樹種配置の考え方

○植栽のコンセプト：「**武蔵野林**」

照葉樹林帯であった関東平野が、人々の営みとともに「武蔵野林」と呼ばれる樹林地帯が形成されていった。その武蔵野林のイメージに調和した樹種選定を行う。

選定する樹種	説明	
<p>自生種</p>	<p>関東圏に自然分布している樹種。また、移入植物でも日本に定着し久しく、調布市内でも頻繁に見かける品種も、彩を加える樹種として選定する。</p> <p>例) シラカシ、ツバキ、ハナミズキ等</p>	 <p>ツバキ</p>  <p>シラカシ</p>
<p>調布市ゆかりの樹木</p>	<p>調布駅前広場において「我が街」として、来訪者への「歓迎の意」を表現するため、ゆかりの樹種を選定する。</p> <p>例) ■市の木・・・クスノキ ■市の花・・・サルスベリ</p>	 <p>クスノキ</p>  <p>サルスベリ</p>
<p>既存樹木</p>	<p>現位置のまま残されている樹木、広場内に移植済みまたは移植予定の樹木、苗圃へ移植済みで戻す樹木、合計39本（常緑樹5種、落葉樹8種）を活用する。</p> <p>■常緑樹…クスノキ、クロガネモチ、キンモクセイ、シラカシ、ヤブツバキ ■落葉樹…ウメ、ユリノキ、イチヨウ、ケヤキ、サルスベリ、ノムラモミジ、ハナミズキ、ヒメシャラ</p>	 <p>ウメ</p>  <p>ノムラモミジ</p>  <p>キンモクセイ</p>
<p>補完する樹木</p>	<p>上記の高木のほか、目に留まりやすく四季の移ろいを感じられる中木、低木、地被類を、植栽景観を引き立てる補完的な添景樹木として植栽する。</p> <p>例) ドウダンツツジ、ミツバツツジ等</p>	 <p>ドウダンツツジ</p>

令和3年2月時点での樹木配置案



市民参加や関係団体からのご意見

■市民参加

- ・現在の配置案でいいと思う
- ・樹木は剪定など経費もかかるし、最小限でいいのでは
- ・季節感のある樹種を計画してほしい
- ・落葉樹や常緑樹を混ぜて配置してほしい

■植木組合

- ・商業ビル前に遮へいするほど多く植えない方がよい。南東角は車両通行も多いため危険性もある。生垣で遮へいしては店舗側も見えなくなり困るのではないかと
- ・地下の京王線、埋設物などに樹木位置が重なっていないかと

■街路樹管理者

- ・落葉樹と常緑樹のバランスは7対3くらいが良い
- ・地下化されている京王線の上に植樹するには確認が必要
- ・東南側の道路沿いは、なぜ生垣が必要なのか



44番 アオギリについては
取り扱いについて要検討

常緑樹 落葉樹 落葉樹 落葉樹 可搬式緑化ポツチ	現在・苗圃にあり 将来広場内に移植樹木 ※中木：12.0前後	常緑樹 常緑樹 常緑樹 常緑樹 可搬式緑化ポツチ	大高木 23 高木 16 中木 29 合計(本) 67 可搬式緑化ポツチ 8 総計(本) 110
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---

